

会議名	平成17年度(第60回)関東畜産学会大会
開催日時	平成17年11月10日(木)・11日(金)
開催場所	場所:東京都農林総合研究センター立川庁舎(東京都立川市富士見町3-8-1)
主催者	関東畜産学会・第2日のシンポジウム(東京都農林総合研究センターとの共催)
参加人数(概数)	約200名(学生会員を含む、2日間)
1. 会議の概要 (講演要旨、総会資料等添付)	<p>この事業の事業内容として、国内外の畜産技術の収集及び畜産現場からの様々な技術改善要望を収集整理する情報収集の一環として、標記の関東畜産学会大会に参加して報告された一般発表および特別講演、シンポジウムから関東地域における畜産技術開発のための課題等について調査し、下記のような情報を収集したので報告する。</p> <p>一般講演; 11月10日(木)9:30~12:00、14:30~17:00 11日(金)13:30~16:30)</p> <p>29題、内訳として5大学と畜草研から24、4公立機関から5の発表があった。畜産技術に直結するものとして評価できる発表は、耕畜連携・地域資源活用など地域的課題3題、実用化直結3題、基礎技術的課題4題程度であった。29題の中で学生教育的な発表が10題ほど見られた。</p> <p>通常総会、受賞講演; 11月10日(木)13:00~14:00 平成17年度定期総会; 報告事項(平成16年度事業報告・会計報告・および会計監査報告、平成17年度関東畜産学会受賞者)及び提案事項(平成17年度事業計画案・予算案)について原案通り承認。平成17・18年度関東畜産学会役員を原案通り選出。次期開催県(千葉)を承認、大会委員長挨拶。 なお、会員数の増加、都道府県研究職員の大会参加と会報への投稿を増やすように努力すべきである、との意見が出された。 平成17年度関東畜産学会 学術賞は「黒毛和種去勢肥育における未処理モミ穀と丸粒トウモロコシを組み合わせた低コスト・高品質牛肉生産に関する研究」により千葉県畜産総合研究センターの小林正和氏が受賞し、受賞講演が行われた。</p> <p>特別講演「東京都の畜産事情」; 11月10日(木)14:00~14:30 東京都産業労働局農林水産部農業振興課長 武田直克氏 東京農業の特徴、東京農業の現状、東京畜産の現状、東京の畜産の課題と対策、について講演された。 (報告者の所見; 東京都の農業・畜産を生産の側から見れば、試験研究の組織や機関の存在が問われることになるだろう。しかし、発想を逆転して都内で消費される農畜産物について消費者の立場になって課題を設定し、活動し、成果を挙げれば、国内で最も存在価値の高い組織となるのではなかろうか)</p> <p>シンポジウム(東京都農総研センターとの共催)11日(金)9:30~12:30 「畜産物の安全性と美味しさの追求」座長(コーディネーター)三津本充氏(畜草研)</p> <ul style="list-style-type: none"> 食品におけるリスクコミュニケーションの現状と課題: 戸部依子氏(食品安全委員会) 東京食肉市場における安心・安全への取り組みについて 池亀秀美氏(東京食肉市場) 食肉のおいしさ 香りを中心にして 松井昌典氏(日獣大)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食肉・食肉製品の色について 坂田亮一氏（麻布大） ・ 総合討議； 消費者に対して安全・安心には金のかかることを、マスコミの活用により知らしむべし。生産者と消費者のこの問題についての温度差。調理についての食育。消費者の嗜好に応じた評価。 （東京農総研の今後のあり方を目指したような構成のシンポジウムであったが、内容が多彩、時間不足もあって話題間の脈絡も十分まとめ切れなかった。）
2．今後の研究開発分野として重要と思われる関連発表課題・話題提供名	<p>（一般講演）</p> <p>27「家畜ふんとトマト茎葉残さの混合処理堆肥化」石崎重信ほか（千葉県畜総研） 耕畜連携の試金石として実用化の行く手に注目。</p>
3．その他の発表課題で関心のあったもの（課題ごとに概要を400字程度）	<p>（一般講演）</p> <p>13「わが国における飼料米を活用した豚肉生産の可能性について」 寺田文典ほか（畜草研） インターネットによるアンケート調査（調査会社のモニター利用）の手法に新規性。女性のみのお返答から、飼料米が1キロ40円なら利用可能。</p> <p>14「レンコン残さの給与が卵用種雄ヒナの飼養成績および血しょう成分等に及ぼす影響」 矢ヶ部陽子ほか（畜草研・茨城畜セ・鈴木農園） 身近な地域資源の未知なる機能性の検討。物質同定、産卵鶏・ブロイラーへの適用など今後の発展が期待できる。</p>
4．今後研究開発課題採択に当たって参考とすべき事項等	
5．報告者	針生 程吉